## 情報数学 III 第6回小テスト解答

$$\boxed{\mathbf{1}} (1) \begin{pmatrix} \frac{3}{5} \\ -\frac{21}{5} \end{pmatrix} \qquad (2) \begin{pmatrix} -\frac{11}{5} \\ \frac{23}{5} \end{pmatrix} \qquad (3) 存在する: \begin{pmatrix} -\frac{5}{2} \\ -\frac{5}{2} \end{pmatrix}$$

$$\boxed{\mathbf{2}} \quad \vec{v} = \frac{2}{11} \left( \begin{array}{c} 1 \\ -1 \\ 3 \end{array} \right)$$

**3** (1) (エ) (2) (オ) (3) (カ) (4) (ア) (5) (イ)

4

- $(1) \ \frac{3}{2}, \frac{1}{2}$
- (2) 固有値  $\frac{3}{2}$  に関する固有ベクトルは、 $c \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \end{pmatrix}$ 、 固有値  $\frac{1}{2}$  に関する固有ベクトルは、 $c \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ (c は任意の実数)
- (3) (2) で求めた固有ベクトルを長さ1にして並べればよい.

例えば、
$$P = \begin{pmatrix} -\frac{1}{\sqrt{2}} & \frac{1}{\sqrt{2}} \\ \frac{1}{\sqrt{2}} & \frac{1}{\sqrt{2}} \end{pmatrix}$$

5

$$(1) A = \begin{pmatrix} 16 & -12 \\ -12 & 9 \end{pmatrix}, \qquad \vec{b} = \begin{pmatrix} 5 \\ -10 \end{pmatrix}$$

(2) 固有値は 25 と 0.

固有値 25 に関する固有ベクトルは, $c \left( \begin{array}{c} -4 \\ 3 \end{array} \right)$ ,

固有値 0 に関する固有ベクトルは,  $c\begin{pmatrix} 3\\4 \end{pmatrix}$  (c は任意の実数)

(3) これは放物線である.

(2) の結果を利用して、直交行列  $P=\begin{pmatrix} -\frac{4}{5} & \frac{3}{5} \\ \frac{3}{5} & \frac{4}{5} \end{pmatrix}$  を用いて  $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = P\begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix}$  と座標変換すると 2 次曲線の方程式は  $Y=5X^2-2X+1$  となる これは放物

と座標変換すると、2 次曲線の方程式は  $Y=5X^2-2X+1$  となる。これは放物線に他ならない。